

1 . 安全のために必ず守ること

ご使用前にこの事項を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

この項に示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

 警告	死亡または重傷など重大な事故の発生が想定される内容です。	 注意	けがや物的損害の発生が想定される内容です。
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------

 警告	
 分解禁止	『ハウスエコ24』は絶対に分解、改造しないでください。感電や火災の発生、異常動作によるけがの原因となります。
 水かけ禁止	『ハウスエコ24』は絶対に水で濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
 禁止	ガス漏れの恐れがある場合は使用しないでください。爆発や引火の原因となります。
 指示に従い必ず行う	指定電源（AC100V）にて使用してください。指定電源以外で使用すると火災や感電の原因となります。 お手入れの際は、始めに必ず分電盤のブレーカーを切ってください。指や衣服などの巻き込みによるけが、感電の原因となります。 『ハウスエコ24』は一般住宅の居室を対象としたシステムで、通常の生活に合わせた換気量の設定になっています。極端に居住者が多い場合や、多量の臭気などの発生があった場合は、窓を開けるなど他の換気方法を併用してください。

 注意	
 使用禁止	運転中に機器から異常音や異臭を感じたら、使用を中止し分電盤のブレーカーを切ってください。火災や感電の原因となります。
 禁止	エアフィルターを取付けていない状態での運転はしないでください。機械内部にゴミなどが入りやすくと故障の原因となります。
 指示に従い必ず行う	お手入れの際は、必ず手袋や軍手などを着用し、手を保護してください。本体金属部分などでけがをする原因となります。 お手入れの際は、足元に注意し、安定した台を使用してください。滑りやすいスリッパを履いていたり、不安定な台に乗っての作業は、転倒や落下によるけがや破損の原因となります。 エアフィルターは定期的に清掃・交換を行ってください。多量のゴミやホコリが付着したまま運転すると、性能低下や故障の原因となります。 各製品の取付けは確実に行ってください。機器の性能低下の原因や落下によるけが、破損の原因となります。 エアフィルターを洗った際には、よく自然乾燥をさせてください。濡れたまま取付けますと感電や故障、サビの原因となります。 機器を長期間運転させないときは、分電盤のブレーカーを切っておいてください。漏電や火災の原因となるおそれがあります。 取付工事並びに電気工事はお買い上げの販売店、又は専門業者に依頼して下さい。取付が不完全な場合は火災、感電の原因となります。

2 . ハウスエコ24の製品概要

シックハウス症候群を防ぎます

今問題のシックハウス症候群とは“目がチカチカする、のどが痛い、めまいや吐き気、頭痛がする”など、さまざまな症状があり、新築やリフォームした住宅に入居された人によくみられます。

その原因の一部は、建材や家具、日用品から発散される化学物質と考えられ、特に住居内に居る時間の長い主婦やお年寄り、子供が危険な状態にさらされてしまうのです。

そこで「居室中の化学物質を機械換気で外に出すように」と、建築基準法が改正されました。

本製品は、改正された建築基準法を遵守した製品です。

高気密・高断熱住宅には換気が必要です

近年、日本ではより快適な居住環境と、省エネルギーニーズにより冷暖房効果の高い「高気密・高断熱住宅」が増えてきました。それは少ないエネルギーで安定した環境が維持でき、今までの住宅には得られなかった、快適で健康的な暮らしをもたらしてくれるようになります。

しかし、高気密・高断熱住宅にも問題はまだ残されているのです。

【高気密・高断熱住宅の問題点】

- ・汚れた空気が家の外へスムーズに排出されません。
- ・壁や家具を汚したり、ニオイが染み付いたりします。
- ・浴室やキッチンから発生した水蒸気が家を痛め、家の寿命を縮めます。
- ・アレルギー性疾患の一因といわれる、カビやダニの繁殖を促します。

これらの問題を解決するために、換気はとても重要なのです。



排気ファンユニットにより各部屋の排気を行ない、各部屋に設けた自然給気グリルにより自然給気を行なう換気システム



指示に従い
必ず行う

- ・換気システムは、原則として強運転¹にて24時間連続運転をしてください。守らないと結露²が生じる可能性があります。

1：風量切替は、邸別の換気設計システム配置図の指示に従ってください。

2：ダクト内の結露発生の恐れがあります。

3 . 換気送風機 : 24FE30D12DB

警告



分解禁止

排気ファンユニットの改造・分解は絶対にしないでください。
火災や感電の原因となります。



指示に従い
必ず行う

お手入れの際は、始めに必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
指や衣服などの巻き込みによるけが、感電の原因となります。

注意



禁止

エアフィルターを取付けていない状態での運転はしないでください。
機械内部にゴミなどが入りやすと故障の原因となります。



指示に従い
必ず行う

長期間ご使用にならない場合、分電盤のブレーカーを切ってください。
感電の原因となります。

お手入れの際は、必ず手袋や軍手などを着用し、手を保護してください。
本体金属部分などでけがをする原因となります。

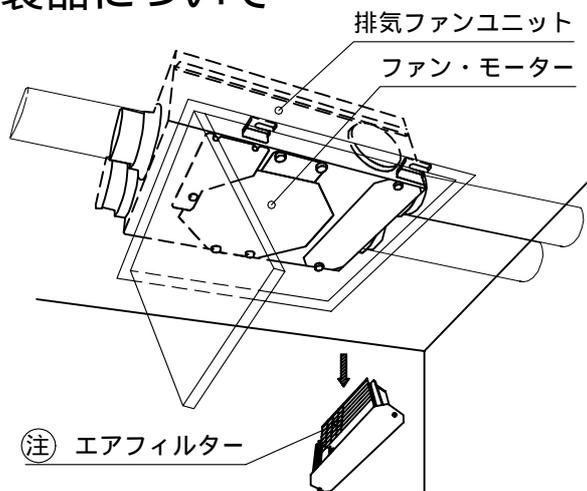
お手入れの際は、足元に注意し、安定した台を使用してください。
滑りやすいスリッパを履いていたり、不安定な台に乗っての作業は、転倒や落下によるけがや破損の原因となります。

エアフィルターは定期的に清掃・交換を行ってください。
多量のゴミやホコリが付着したまま運転すると、性能低下や故障の原因となります。

エアフィルターを洗った際には、よく自然乾燥をさせてください。
濡れたまま取付けますと感電や故障、サビの原因となります。

各 부품の取付けは確実に行ってください。
機器の性能低下の原因や落下によるけが、破損の原因となります。

製品について



排気ファンユニット

内蔵しているファン・モーターにより、室内の汚れた空気を室外へ排出します。

エアフィルター

ホコリなどを取り除き、ファンユニット内部にゴミなどが入らないようにします。

- 注
- ・エアフィルターは仕様によって取付かないものもあります。
 - ・エアフィルターの取り出し方は、エアフィルターの清掃方法をご参照ください。

機器本体は1F洗面所、2Fクローゼット・ホールに設置されている事が多いですが、お買い上げの販売店、又は工務店にご確認ください。

製品仕様

型 式	24FE30D12DB		
定格電源 (V)	AC100		
運転周波数 (Hz)	50/60		
ノッチ	大風量	標準	弱
風量 (m ³ /h)	260/260	220/210	170/150
消費電力 (W)	44/53	39/42	34/34
エアフィルター	サランハニカム (捕集効率: 質量法27%)		
質量 (kg)	8		

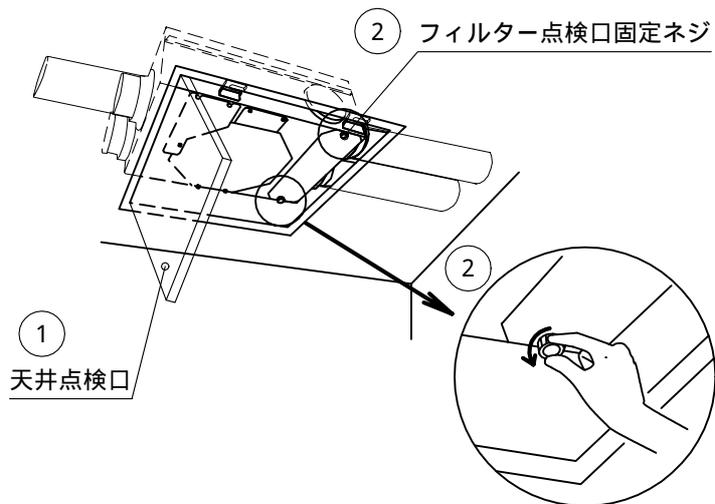
ノッチは標準 弱もしくは大風量 弱の組合せのみです。
住宅によって異なりますので、組合せについては工務店にお問合わせください。

風量は、機外静圧 0Pa時の値です。

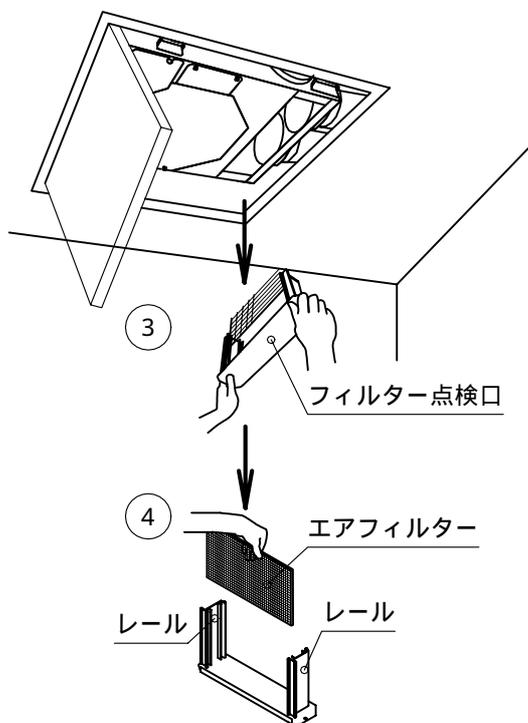
お手入れ方法

【エアフィルターの清掃方法】

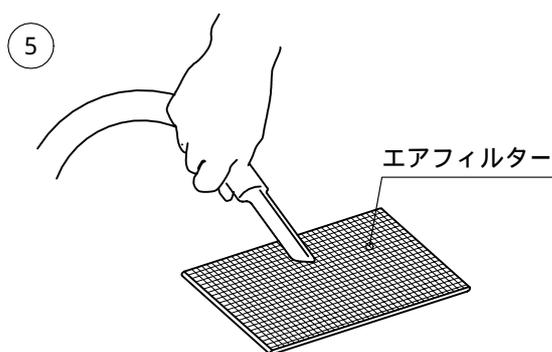
エアフィルターは、3ヶ月に1回程度清掃してください。



- ① 分電盤のブレーカーを切り、天井点検口を開けてください。
- ② フィルター点検口固定ネジ（左右計2ヶ所）を外して下さい。
フィルター点検口固定ネジは紛失しないようにしてください。



- ③ フィルター点検口をゆっくり引き抜いてください。
落下させないように注意してください。
- ④ エアフィルターを枠から取出してください。



- ⑤ 掃除機でホコリを吸い取ってください。
汚れのひどい場合は、中性洗剤を入れた水またはぬるま湯でかるく洗い、よくすすいで自然乾燥してください。

注) 熱湯の使用や、こすり洗いはしないでください。

エアフィルターが破れたり穴あきなど破損した場合は、新しいエアフィルターと交換してください（新しいフィルターは弊社までご注文ください）。

エアフィルターの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

注) エアフィルターは完全に乾いていることを確認してから取り付けてください。